

<p>【イベント名】 第8回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 第8回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンスは、難易度の高い胃がんの臨床例の内視鏡検査および組織病理学上の特徴に焦点を当てた。2件の胃がん患者の臨床例が提示された。また、それらの内視鏡検査および病理組織所見について参加者とそれぞれの専門家らが議論を行った。参加者からは、画質・音質ともに問題なく、意義深い議論であったと評価された。</p>
<p>【期日】 2019.12.23</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、ヤロスラヴリ鉄道病院（ロシア）、ウラジオストク鉄道病院（ロシア）、ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター（ロシア）、ロシア国立医学研究大学（ロシア）、国立心臓・内科センター（キルギス）、中央アジア研究教育ネットワーク（キルギス）、オシュ州立大学（キルギス）、順天堂大学（日本）、大阪国際がんセンター（日本）、モスクワプルデンコ病院（ロシア）、シンフェロポリ内視鏡専門センター（ウクライナ）、日本モンゴル教育病院（モンゴル）</p>	

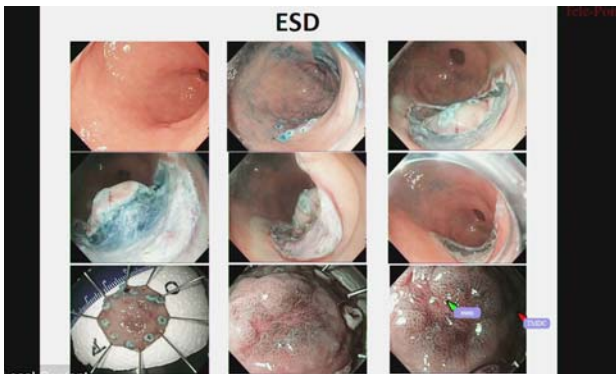


ヤロスラヴリ地域癌病院の様子。

モニタに映し出される接続施設。

撮影場所：ヤロスラヴリ地域癌病院

撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。

シンフェロポリ内視鏡専門センターの様子。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：シンフェロポリ内視鏡専門センター



大阪国際がんセンターの様子。

ウラジオストク鉄道病院の様子。

撮影場所：大阪国際がんセンター

撮影場所：ウラジオストク鉄道病院